

改訂3版

糖尿病薬・ インスリン治療 基本と使い分け 超Update

薬剤・デバイスの特徴を掴み、血糖管理に強くなる!

改訂3版の序	弘世貴久	3	(821)
初版の序	弘世貴久	5	(823)
Color Atlas		11	(829)
執筆者一覧		16	(834)

第1章 糖尿病薬の基本と使い分け

- ついにできた！日本人2型糖尿病患者に向けた糖尿病薬物療法のアルゴリズム。元祖ファーストライン、肥満、非肥満で最も分けにくいメトホルミンはどこへ行く？坊内良太郎 18 (836)
 - アルゴリズム作成に至った背景
 - 2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム
- スルホニル尿素（SU）薬西尾真一、駒津光久 28 (846)
 - 薬の作用機序
 - 薬の特徴
 - 使用上の注意
 - SU薬を適切に使用するためのテクニック

- 3. チアゾリジン薬** 大森一生, 八木稔人 36 (854)
1. 薬の作用機序 2. 薬の特徴 3. 副作用, 使用上の注意 4. チアゾリジン薬使用の実際
● Advanced Lecture : “苦しまぎれ”からの逆転!?
- 4. α -グルコシダーゼ阻害薬** 青木一孝, 寺内康夫 44 (862)
1. 薬の作用機序 2. 薬の特徴 3. 使用上の注意 4. 症例 5. α -GIの実際の使い方
● Advanced Lecture
- 5. グリニド薬** 西村明洋 52 (870)
1. 薬の作用機序 2. 薬の特徴 3. グリニド薬を選択するシチュエーションは? 4. グリニド薬間の使い分け 5. 使用上の注意
- 6. DPP-4 阻害薬** 有村愛子, 森野勝太郎 62 (880)
1. 薬の作用機序 2. 薬の特徴 3. 使用上の注意 4. 症例 ● Advanced Lecture
- 7. ビグアナイド薬** 住谷 哲 69 (887)
1. 薬の作用機序 2. 薬の特徴 3. 薬が使用可能なケース
● メトホルミンの有用性を最大限に発揮するために理解しておくこと
1. 基礎治療薬としてのメトホルミン 2. 投与法のポイント 3. メトホルミンと乳酸アシドーシス
- 8. SGLT2 阻害薬** 渕上彩子 76 (894)
1. 薬の作用機序 2. 薬の特徴 3. 使用上の注意
- 9. GLP-1 受容体作動薬** 岩田葉子 85 (903)
1. 薬の作用機序 2. 薬の特徴 3. 使用上の注意 4. 症例 ● Advanced Lecture
- 10. イメグリミン** 小田知靖, 石垣 泰 95 (913)
1. イメグリミンの作用機序 2. イメグリミンの効果 3. 投与にあたっての注意
4. イメグリミン使用症例 5. 適応
- 11. 糖尿病の経口配合剤をどのように活かすか** 北澤 公 102 (920)
1. 経口糖尿病薬治療の現状 2. 糖尿病治療における服薬アドヒアラנסと配合剤の有用性
3. 配合剤使用の実際

第2章 インスリンの基本と使い方

- 1. インスリンにはどんな種類があるの?** 竹内 淳 109 (927)
1. インスリンとは? 2. インスリンの適応について 3. インスリンの種類について 4. インスリン処方の実際 5. 基礎インスリン1日1回での治療について 6. インスリンの合成, バイオシミラーについて
● Advanced Lecture : 週1回の投与が可能となった新規インスリン製剤 アウイクリ[®]注

- 2. インスリン導入のABC（外来）** 紅林昌吾 124 (942)
1. 外来導入に適したインスリン療法の適応症例 2. インスリン導入前の準備と治療提供側の心得
3. 外来導入にふさわしいBOT（持効型1回注射） ● Advanced Lecture : 持効型インスリンはどうのくらい増量するのだろう？～BOTの臨床試験から考える 4. BOTでコントロール不十分の場合のステップアップ、これが重要！
- 3. インスリン導入のABC（入院）** 辻野大助、西村理明 133 (951)
1. 入院患者におけるインスリン導入の実際
2. インスリン導入において患者に指導すべき注意点 3. 退院時に、患者に指導しておくべきこと
- 4. 基礎インスリン/GLP-1受容体作動薬配合剤の使い方** 川口祐司 139 (957)
1. それぞれの配合剤の特徴 2. 新たな治療戦略 3. それぞれの配合剤の使い分け指南
- 5. インスリン注射が効かない患者、インスリンボールに注意**
カレンダー式注射法の勧め 菊地由恵、杉村和彦 147 (965)
1. インスリン注射部位の皮下腫瘍（インスリンボール）
2. なぜ同じ部位にくり返し注射するのか？ 3. カレンダー式注射法
● Advanced Lecture : インスリン自己注射を行う患者の本音
- 6. QOLを意識したインスリン療法** 増谷 剛 156 (974)
1. インスリン注射実行度と血糖コントロールの関係 2. インスリン注射を妨げる要因について
3. CGMでインスリン注射アドヒアラנסの問題点が明らかになった1型糖尿病症例 4. 新しい血糖測定機器によるQOLの改善
- 7. CGMの進歩とBOTでの有効利用** 半田朋子、尾上剛史、有馬 寛 166 (984)
1. CGM技術の進歩 2. CGMのデータ解析と臨床応用 3. CGMの使用におけるインスリンや投薬調整の実際：CGMを用いた治療方針
4. CGMの行動変容効果と糖尿病管理への新たな可能性 5. BOTにおけるCGMの活用
6. 日常生活でのCGM使用における注意点
- 8. 進歩するSAP療法** 池原佳世子 175 (993)
1. SAPの仕組みと機能 2. SAPの適応と導入の手順 3. レポートの読み方 4. トラブルシーティング
- 9. インスリン療法導入後の退院に向けての他剤併用によるステップダウン**
..... 佐藤源記 182 (1000)
1. 糖尿病薬を併用する際の考え方 2. 肥満例のステップダウン
3. 非肥満例のステップダウン ● Advanced Lecture : イメグリミンの立ち位置

第3章 特殊な病態での薬の使い分け

1. 妊娠中の糖尿病薬・インスリン治療 比嘉眞理子, 後藤彩紀 190 (1008)
1. 妊娠時に使用するインスリン注射について知ろう 2. 妊娠中に経口血糖降下薬は使用できるか
3. 妊娠前の血糖管理はどうするか 4. 妊娠中の血糖管理はどうするか
5. 分娩時の管理はどうするか 6. 分娩直後の管理はどうするか
2. 高齢者の糖尿病薬・インスリン 渡邊健太郎 198 (1016)
1. 高齢者糖尿病患者の治療目標値の設定 2. 高齢者糖尿病患者の経口血糖降下薬治療 3. GLP-1受容体作動薬とGIP/GLP-1受容体作動薬による治療 4. 高齢糖尿病患者のインスリン療法
5. 持続血糖モニタリングによる血糖コントロールの評価
3. 服薬, 注射アドヒアランスが上がりにくい患者への対処法のいろいろ 澤木秀明 209 (1027)
1. チーム医療の重要性 2. 患者さんの声をよく聞く 3. 導入時の障壁（特に注射療法）
4. 継続の障壁
4. 慢性腎臓病, 心不全, 心血管疾患があるときどうする（適正使用の勧め） 馬場園哲也 215 (1033)
1. 糖尿病性腎症に対する効果 2. 心不全に対する効果 3. 動脈硬化性心血管疾患（ASCVD）に対する効果

第4章 病棟・救急で困る, こんなときどうする?

1. スライディングスケールの落とし穴 西尾理恵, 金澤昭雄 223 (1041)
1. スライディングスケールの基礎 2. 実際にスライディングスケールを上手に使ってみよう
3. スライディングスケールの応用編～食事量スケール, 定期注射との併用
2. シックデイの一般管理やそのときの内服薬継続, 中止について 塩見亮人, 三宅映己, 古川慎哉 229 (1047)
1. シックデイの水分・食事摂取 2. シックデイの薬剤管理 3. 入院治療の適応
3. 糖毒性が改善した後のインスリン量調節はどうすればよいですか？
インスリン離脱が予想される, 病歴の短い患者の入院～退院後の管理 黒住 旭, 岡田洋右 235 (1053)
1. 症例：若年でペットボトル症候群, 肥満を合併した2型糖尿病 2. インスリンと経口血糖降下薬の併用について
4. 血糖が乱高下する1型糖尿病の治療はどうすればよいか？ 渡邊大督, 今川彰久 243 (1061)
1. 血糖が乱高下する1型糖尿病 2. 最新治療について①CSII 3. 最新治療について②SAP
4. 最新治療について③カーボカウント ● Advanced Lecture：免疫チェックポイント阻害薬投与に関連して発症する1型糖尿病とは

5. 糖尿病治療中の患者が救急に運ばれてきたら！橋本久仁彦 249 (1067)

1. 糖尿病ケトアシドーシスと高血糖高浸透圧症候群
 2. 低血糖
- Advanced Lecture : SGLT2阻害薬投与患者における正常血糖DKAに注意しよう！

6. 周術期、集中治療室での血糖管理のポイントが知りたいです

.....江木盛時 258 (1076)

1. 周術期患者や集中治療患者での糖代謝変動と高血糖
2. 血糖測定方法による誤差
3. 現在の急性期血糖管理に関する推奨
4. 急性期血糖管理の実施方法

7. ステロイド糖尿病の早期発見と治療について教えてください

.....野見山 崇, 柳瀬敏彦 264 (1082)

1. ステロイド糖尿病の疫学と病態
 2. ステロイド糖尿病の診断と治療
- Advanced Lecture

8. 輸液中や胃管管理中の患者の血糖管理のポイントが知りたいです

.....中西修平 272 (1090)

1. 初診患者の血糖マネジメントで最初に把握すべきこと
2. 経腸栄養そのものに工夫できることはあるのか
3. 輸液管理そのものに工夫できることはあるのか
4. 血糖マネジメントについてはたして指標はあるのか
5. 血糖マネジメントの方法

column

1. SGLT2阻害薬の糖尿病以外での適正な使用を考える弘世貴久 279 (1097)

2. いよいよ使用可能となった週1回基礎インスリンをどう使うのか

.....弘世貴久 280 (1098)

3. 経口GLP-1受容体作動薬がオモシロイ弘世貴久 281 (1099)

● 索引 282 (1100)